

今日の説教のポイント<エフェソの信徒への手紙 1章 15～23 節>

エフェソ書独特の内容が展開されています。順に見て行くと…

①15～16 節：信仰者が愛し合えるのはなぜなのか？

神についての神学的な内容が展開されている中であって、主イエスを信じたエフェソの信徒たちに愛が生まれていることにパウロが喜んでいるのが目にとまります。愛することの大切さを教えられると共に、なぜそうなれるのかはさらに読んで行くと分かってきます。

②17～19 節：神についてもっと深く理解できるようにと祈るパウロ

ここでは、要するに、エフェソの信徒がさらに神について深く理解できるようにするために、神が彼らに「知恵と啓示との霊」(17)を与えて「心の目を開いて下さるように」(18)、とパウロは祈っています。それによって信仰者が今まで知らなかった「希望」(18)を持てるようになり、また、「信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力」(19)を知ることができるようになる、と考えているからです。どういうことでしょうか？

③20～21 節：神の絶大な力の現れをキリストの復活と高举に見る

ここを読むと、パウロが「心の目が開かれて分かってほしい」と願っている内容が分かります。それは、1)キリストの復活と高举の出来事は「神がなされた出来事、神の力をそこに見るべき出来事」であるということ、よって、2)私たちは、今からは、このことをなして下さった神を一番に信じて生きていくことが求められているということ、この二つです。しかし、そんな大きな力を持たれる神が、なぜ今のような矛盾と悲しみに満ちた世界を放っておかれるのでしょうか？

④22～23 節：キリストが満ち満ちている場、教会から世界は変わる！

①の問いに戻ります。キリストと出会って、キリストを通して神様の愛を知った者は、今度は自分の罪深さを知る中で、互いに愛し合い、赦し合うようになるのです。だから信仰者の群れ、教会から世界は変わり始め、それが世界中に伝搬していく方法を神様は取られたのです。罪深い人間を見捨てず、むしろ御子キリストによって私たちを「全てにおいて全てを満たしている方の満ちている場、教会」(23)に招き入れて下さる方法を取られたのです。「私たち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力」(19) — 神は私たち信仰者を用いられる方法を取られたのです！